

2018年2月2日  
京成電鉄株式会社

今年度も新造車両を投入いたします  
-「人と環境に優しい鉄道」を目指して-

- ・3036編成 2月 2日 (金) 営業運転開始
- ・3037編成 2月22日 (木) 営業運転開始予定
- ・3038編成 3月 5日 (月) 営業運転開始予定

京成電鉄(本社：千葉県市川市、社長：小林 敏也)では、新造車両である3036編成(8両)の営業運転を2018年2月2日(金)より開始いたしました。

この車両は「人と環境に優しい鉄道」をコンセプトに、2003年から導入している3000形車両です。

昨年度に引き続き、多言語案内としてLCD(液晶)の車内案内表示器を導入するほか、車内照明のLED化、車両の軽量化による使用電力の低減など環境保全に配慮した車両となっております。

なお今年度は、2月22日(木)に3037編成(8両)、3月5日(月)に3038編成(8両)がそれぞれ営業を開始する予定です。



2月2日(金)より営業運転を開始した3036編成



日本語



英語



中国語



韓国語

引き続き採用したLCD(液晶)多言語車内案内表示器